

校長室から (NO. 18)

「令和」の時代へ

ちょうど1か月前、平成最後の入学式を終え、この10連休中の5月1日をもって「令和」がスタートしました。テレビのインタビューで子供にもマイクを向けられた場面があり、口々に「平成は平和でよかった」と言っていました。戦争の経験のない平成生まれの子供であっても、豊かで恵まれた時代を過ごすことができていることを言葉にできる我が国に、改めて感動と感謝を覚えます。本校の子供たちもおそらく、「平成」を平和な時代と感じ、また、「令和」もそうであってほしいと願っているに違いありません。

平成に生まれ、令和に生きる子供たち。新元号『令和』に込められた願い～人々が美しく心を寄せ合う、秩序を保ち調和する～を実現していくのは、子供たちであり、また、その子供たちと共に生きる私たちでもあります。そのために、学校が成すべきことは何かをこの節目に自ら問いかけています。

まずは、明日から始まる様々なことに、皆で力を合わせて向き合い、和やかでありながらも、わくわくするような学校でありたいと思います。



図書室には、「令和」の出典となった「万葉集」に関わる書物があるので、児童玄関ホールに紹介してみました。